

KA II MARU
鍛冶丸

第10号

平成30年
9月1日



郷土史を訪ねて②「走る博物館」

『野田山「前田家墓所(利家と満姫)」に臨む』平成30年6月8日(金)
野田山墓所(石川県金沢市)

主な内容

- ・平成30年度 高岡市立博物館に親しむ会 総会・講演会 2
- ・平成29年度 収支決算、高岡市立博物館に親しむ会 役員名簿 2
- ・博物館に親しむ会 発足5周年にあたって、平成30年度事業計画 ... 3
- ・5/11の報告、高岡市立博物館ボランティア募集 4
- ・“還暦過ぎの修学旅行”に参加して、親しむ会 呈茶席..... 5
- ・親しむ会からのお知らせ、茶室「松聲庵」のご案内 6

高岡市立博物館に親しむ会 会報第10号

■事務局 〒933-0044 高岡市古城1-5 高岡市立博物館内

TEL 0766-20-1572 FAX 0766-20-1570

HPアドレス <http://www.e-tmm.info/> メールアドレス info@e-tmm.info

さる4月19日(木)、高岡市立博物館 新館3階講堂にて「平成30年度 高岡市立博物館に親しむ会 総会・講演会」が開催され、57名の会員の方々にご参加いただきました。総会では、前年度の収支決算報告や、今年度の事業計画の説明などが行われました。また、講演会では『越中における宗良親王の足跡』と題し、高野 昭憲氏（元高岡市万葉歴史館副館長、元高岡市福岡民俗資料館学芸員）に宗良親王（後醍醐天皇皇子）と越中のかかわりについてお話をしていただき、たいへん盛況なうちに閉会となりました。



総会の様子



高野 昭憲 氏



講演会の様子

平成29年度 収支決算報告

(単位：円)

収入の部

科 目	予算額 A	決算額 B	比較 B - A	摘 要
会 費	375,000	393,000	18,000	・ 一般会員 1,000円×323口= 323,000円 ・ 賛助会員 5,000円× 14口= 70,000円 ※参考 平成28年度会員数 一般273 賛助15 平成27年度会員数 一般299 賛助16
事業収入	550,000	449,660	△ 100,340	・ 呈茶席事業 57,000円 ・ 歩く博物館事業 48,000円 ・ 走る博物館事業 192,400円 ・ 千保川を呑む事業 72,000円 ・ ショップ図録等販売収入 80,260円
諸 収 入	426	2	△ 424	・ 利子、雑収入
繰 越 金	116,574	116,574	0	
合 計	1,042,000	959,236	△ 82,764	

支出の部

科 目	予算額 A	決算額 B	比較 B - A	摘 要
会 議 費	20,000	5,000	△ 15,000	・ 総会等講演 5,000円
事 業 費	735,000	493,190	△ 241,810	・ 「鍛冶丸」発行2回 108,216円 ・ 走る博物館事業 185,193円 ・ 歩く博物館事業 37,000円 ・ 千保川を呑む事業 71,608円 ・ 呈茶席 抹茶、和菓子、野点傘等 80,273円 ・ 古文書講座、郷土学習講座の一部負担金 10,900円
事 務 費	237,000	162,852	△ 74,148	・ はがき、郵送代（行事、総会等の案内） 85,587円 ・ 消耗品等（コピー用紙、封筒、コピー機インク等） 77,265円
諸 費	10,000	4,060	△ 5,940	・ 慶弔費1件
予 備 費	40,000	0	△ 40,000	
合 計	1,042,000	665,102	△ 376,898	

収入総額 959,236 - 支出総額 665,102 = 294,134 (次年度へ繰越)

高岡市立博物館に親しむ会 役員名簿

(平成29～30年度) 敬称略

役 職	氏 名	所 属	備 考
顧 問	廣瀬 由美子	高岡市立博物館館長	※平成30年度新規
会 長	太田 久夫	前富山県郷土史会会長	
副会長	多田 慎一	裏千家淡交会高岡支部副支部長	
"	神保 成伍	元高岡市立博物館館長	企画運営委員長
"	晒谷 和子	元高岡市立博物館館長	
理 事	荒俣 勝行	美術コレクター	
"	水野 俊雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」	
"	岡田 有弘	岡田美術店	
"	清水 静子	観光ガイドボランティアグループ「あいの風」	
"	立野井 亮	高岡商工会議所青年部理事	
"	樽谷 雅好	(公財) 高岡市民文化振興事業団評議員	研修部会長
"	水上 悦子	版画家	
"	近藤 昭美	裏千家正教授	ワークショップ部会長
"	般若 慎一郎	金屋町まちづくり協議会会長	広報部会長
"	西 範子	裏千家教授	
"	小嵐 晴美	古儀茶道藪内流教授	
監 事	中尾 光博	高岡市立博物館に親しむ会 元事務局長	
"	宇波 真一郎	高岡古城ライオンズクラブ	

博物館に親しむ会 発足5周年にあたって

高岡市立博物館に親しむ会 会長 太田 久夫



太田 久夫 会長
(平成30年度 総会にて)

「博物館の活動を支援し、広く市民に親しまれる新しい博物館づくりに貢献する」ことを目的に、『博物館に親しむ会』が結成されたのは、平成25年3月であった。晒谷和子館長（当時）も博物館協議会の委員や博物館を訪れる方々から要望を受けられていたのも、結成への導火線となったことであろう。

発足後は、博物館と本会は、車の車輪のように活動を推進してきた。本会だけではなかなか運営は困難かと思われるが、博物館の方々の温かい支援があり、感謝している次第である。

本会の役員の方にも、お世話していただいております。『歩く博物館』・『走る博物館』は、現代の語り部 樽谷雅好研修部会長が、市内外を問わず該博な知識を披露され、参加者にいつも深い感銘を与えられるのであった。機関紙『鍛冶丸』には、行事に参加した会員の方々に体験談を寄せていただいているが、これも貴重な記録として残っていくことであろう。この『鍛冶丸』は、年2回着実に発行を重ねて9号まで発行している。

『歩く博物館』同様に会員に関心を持たれているのは、『高岡古文書ボランティア』である。会員限定の事業であるが、月1回の古文書整理には博物館収蔵の古文書の整理に取り組んでおられる。

いずれにしろ本会は、博物館開催のいろいろな事業に、協力できることには協力し、本会の各種事業に博物館の支援をいただきたい。歩く博物館は協力していただければ、運営はむずかしいと思う。

博物館にいろいろな情報を提供するのも本会の役割であると思う。高岡の歴史と文化を学ぶ生涯学習団体として、博物館を中心に本会会員はもとより一般市民にも呼びかけ『高岡学』を構築する拠点として、博物館・本会ともに協力しあって、今後も活動を推進していきたいと願っている。

●●● 平成30年度 事業計画 ●●●

研修部会事業

・歩く博物館 ー1万歩ウォークで「ふるさと再発見」ー

- 第22回 5月11日(金) 米 治一の彫刻を幾つか、歩いて鑑賞する
- 第23回 7月13日(金) 富山市の寺院に、高岡を垣間見る
- 第24回 10月12日(金) 牧野で南北朝の歴史と文学を歩く

・走る博物館 ー貸切バスで・・・「還暦すぎの修学旅行」ー

- 第3回 6月 8日(金) 野田山「前田家墓所（利長と満姫）」に臨む
- 第4回 9月14日(金) 「加賀騒動」を、石川県 ー加賀・能登ー で知る

・小矢部川を呑む【成政】ー西砺波郡 「福光」から高岡を眺めるー 10月26日(金)

ワークショップ部会事業

- 呈茶席 春 4/21、4/28、5/12、5/19
- 秋 9/15、9/22、9/29、10/13・・・各土曜日 8回実施

広報部会事業

会報「鍛冶丸」年2回発行

高岡古文書ボランティア部会事業

- 古文書資料調査整理 4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、11/10、12/15
- H31.1/19、2/16、3/16・・・毎月第3土曜日 12回実施
- ※11月のみ第2土曜日に実施

郷土学習講座等の受講推奨

受講料の一部助成

各種事業ボランティア協力

博物館事業、親しむ会事業ボランティア

親しむ会では、各種部会の
メンバーを募集しています。

- 1 研修部会 事業企画、歩く博物館等サポート
- 2 広報部会 会報誌「鍛冶丸」の作成
- 3 ワークショップ部会 呈茶席運営・サポート
- 4 高岡古文書ボランティア部会 古文書の整理等



5/11の報告

高岡市立博物館に親しむ会 会員 羽 岡 茂

高岡駅北口に集まった一行は樽谷さんの説明を熱心に聞き、配布された資料に見入る。米 治一（こめ・じいち）。明治29年に横田町で生まれ、東京美術学校（現・東京芸術大学）彫刻科塑像部（高村光雲に師事する）を卒業して研究科に進むが、大正10年に帰郷し、銅像の原型師に専念する。それから昭和60年まで、89年の生涯で千点をこえる銅像を作りあげた。銅器・鋳物の町＝高岡を支えた一徹の人物が残した作品をめぐるウォークだ。起点は駅前の大伴家持と乙女の像（昭和56年、85歳時の作品）だ。先代の家持像（同28年制作）は移され二上山に。

バスに乗り昭和通りの横田本町で降りて、堀 二作像がある西条小学校へ向かう。堀 二作は横田村の大地主で、明治時代に第3代と第5代の高岡市長をつとめた。次いで有磯正八幡宮の境内入口に到着。隨身像を見て、左大臣・右大臣の声があり、樽谷さんに叱られる。「それは間違い。雛壇飾りの人形を左大臣・右大臣という場合があるが、これは隨身だ。隨身は貴人の警護にあたる武官で、近代風にいえば近衛兵かな」との説明がなされた。この像は大正10年制作で最初期の作品。その後、生家を訪れ、千保川をわたって御馬出町の高峰公園へ。高峰譲吉の生家跡地で銅像と顕彰碑が建っており、公園と隣接する高岡信用金庫の別館（郵便局の向かい）が「たかしん高峰記念館」となっていた。

片原町で万葉線に乗り高岡市民病院へ。通院者たちに迷惑をかけないように心がけて1階奥の待合室へ向かう。右側の壁面上部にレリーフがあり、5天使が舞っていた。そして高岡消防署へ、庁舎入口にプロメテウス像。ギリシア神話に登場し、主神ゼウスの反対を押しきって人類に「火」を教えた男神。そのため3万年に及ぶ過酷な刑罰を受けた。

今回のウォークも終盤へ。古城公園に入り、本丸広場にある前田利長公の騎馬像、博物館にある高峰譲吉像の原型を鑑賞して、好天に恵まれた歩く博物館を終えた。

<追伸>

会員になって三年目。郷土史に関心大だったが、昨年退職するまで勤務先の都合で参加できない催物もあって歯がゆかった。今後はおおいに参加し、「学び」を続けたい。



大伴家持像



堀 二作像



隨身像



高峰譲吉像



前田利長像



舞う天使像



プロメテウス像

高岡市立博物館ボランティア募集

高岡市立博物館では、博物館事業・親しむ会事業の各種イベント時に手伝っていただけるボランティアを募集しています。

<ボランティアの主な内容>

- ・総会、呈茶席事業、歩く博物館事業、屋上開放（桜の時期）、郷土学習講座等の受付など
- ・各種イベント等の駐車場誘導

●ボランティアの申込は博物館事務所に随時受付しております。



走る博物館 第3回『野田山「前田家墓所(利長と満姫)」に臨む』

平成30年6月8日(金)

“還暦過ぎの修学旅行”に参加して

高岡市立博物館に親しむ会 会員 近藤 昭美



前田利長公墓所

ました。樽谷雅好先生の解説でゆっくり墓所にお参りする機会を得、関連する天徳院・法円寺にも参詣出来ました。いつかもう一度お参り出来ればと思っています。

前田家は勝興寺とのご縁も深く、お寺に入寺された治脩公は数年間住職として過ごし、後に前田家十一代を継ぎ、加賀藩を治めていたことがあります。野田山では治脩公のお墓は父・吉徳公のすぐ側に建立されていました。そのほか、利長公の娘・満姫が現在前田家一族と共に野田山に眠っていることなども改めてうかがい知ることができました。

二代藩主利長公が町づくり・産業づくりに力を注ぎ、三代藩主利常公により瑞龍寺が建立された高岡。それはいかに高岡が加賀藩にとって重要な地であったかということがよく分かりますし、実際加賀百二十万石の米蔵はほとんど高岡が支えていたように思われます。また高岡市では、毎年九月十三日に利長公の高岡城入城の日を記念して前田利長公顕彰祭が行われており、その都度市長より祭文が奉納されています。いつぞやの顕彰祭で前田家十八代当主利祐様が「前田家ゆかりの地はたくさんありますが、この様に丁寧な顕彰祭まで行ってもらい感謝しています」と話されていたことを思い出しました。それらのことを踏まえると、利長公墓所、国宝瑞龍寺、勝興寺のある二代藩主利長公ゆかりの高岡は「やっぱりすごい」と実感した一日でした。ありがとうございました。



天徳院



法円寺



親しむ会 呈茶席

親しむ会ワークショップ部会では、毎年春と秋に各4回(計8回)、茶室「松聲庵」の掛待合にてお抹茶とお菓子をふるまう呈茶席をもうけています(土曜日、参加費【お抹茶とお菓子】300円)。茶道のお作法をご存じなくても、どなたでもお気軽にご参加いただけます。ぜひお越しください。

秋の日程

9/15、9/22、9/29、10/13
午前11時～午後3時



親しむ会からのお知らせ

7月21日、高岡市立博物館オリジナルトートバッグが発売になりました。全8色で、神保成伍氏（元高岡市立博物館館長）の手による博物館の外観を描いたイラストがプリントされています。A4サイズの書類がぴったり収まる便利な大きさで、講演会・講座などの資料の持ち運びにも最適です。

博物館にお越しの際は、ぜひお買い求めくださいませ！



親しむ会会員：1,000円(税込)

— 一般：1,200円(税込)

材質：綿100%
スベック：幅36×高さ37×底まち16cm
容量 約10ℓ
持ち手：2.5×47cm



● 高岡古文書ボランティア

● 募集要項 ●

以下の内容をご覧ください、
ふるってご参加ください。

1 参加条件

《必須》「高岡市立博物館に親しむ会」会員

《次のいずれか》

- ・古文書講座を受講したことのある方
(博物館「初めての古文書教室」以外の講座でも可)
- ・古文書調査や整理の経験のある方

2 参加費

なし(ただし「高岡市立博物館に親しむ会」の入会必要)

3 参加方法

申し込み不要(当日、博物館までお越しください)

4 活動場所

高岡市立博物館 2階第2企画展示室

5 活動日時

毎月第3土曜日の午後2時～3時30分に開催

※11月のみ第2土曜日開催

平成30年度の活動予定日

4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、
11/10、12/15、H31.1/19、2/16、3/16

6 事業担当

仁ヶ竹 亮介(高岡市立博物館 主査学芸員)

高岡市立博物館に親しむ会 事務局

〒933-0044 高岡市古城1-5

TEL 0766-20-1572 FAX 0766-20-1570

メールアドレス：info@e-tmm.info



しょうせいあん 茶室「松聲庵」のご案内

利用料：1日につき 4,320円(税込)



茶室「松聲庵」は、裏千家淡交会高岡支部 創設30周年を記念し、昭和46年10月に同支部から高岡市へ寄贈されました(現在は高岡市立博物館が管理)。設計は当時の支部長・在田宗貫氏。外観は切妻造で、前面に深い庇を下ろし、正面の貴人口は二枚引き違い腰障子で、周囲には下地窓、連子窓、風炉先窓がとられ、腰部分にはヒシギ竹が張りめぐらされています。庇の上の扁額「松聲庵」は、裏千家 第15代家元・千宗室氏(現 鵬雲斎千玄室大宗匠)の書によるものです。内部は九畳本勝手下座床、水屋付きの茶室となっており、腰掛待合も備えられています。

なお、個人・団体等への貸し出しも行っておりますので、ぜひお気軽にご利用ください。



あなたも「鍛冶丸」に投稿してみませんか？

親しむ会では、親しむ会行事に参加した体験談や、親しむ会に対する思いを寄せて下さる方を募集しています。投稿希望の方は、親しむ会事務局までお知らせ下さい。